

海南島近現代史研究会 第17回定例研究会

19世紀後半以後アジア太平洋各地で日本政府・日本軍・日本企業が殺害した民衆の名前や人数を、日本政府機関は明らかにしようとしていません。アジア太平洋の政府機関も組織的に綿密に調査していません。アメリカ合衆国の歴史は、先住の赤人民衆虐殺の歴史でした。タスマニア虐殺・マジマジ虐殺・ヘレロ虐殺……、世界近現代史におけるジェノサイド・エスノサイドの総括はなされていません。

日本政府に、アジア太平洋の全域で日本政府・軍・企業が殺害した民衆ひとりひとりの名と殺害場所と殺害方法を「調査」させ、謝罪させ、賠償させ、責任者を処罰させなければなりません。

日本国家によって殺害された人びとの生と死の軌跡をたどり、国民国家日本の侵略犯罪の全容を、民衆のちからで明らかにしていく具体的な方法について話し合いたいと思います。

みなさんの参加をお待ちしています。

と き：2016年2月14日（日）13時10分～17時（開場12時45分）

ところ：クレオ大阪西 研修室 大阪市このはな区西九条6-1-20 電話06-6460-7800

<http://www.creo-osaka.or.jp/west/index.html>

JR大阪環状線・阪神なんば線 西九条駅下車、徒歩約3分

参加費：500円（会員は無料です）

主題：日本政府・軍・企業に殺害された人びとの生と死

■主題報告 日本の侵略犯罪の犠牲者の生涯

佐藤正人

日本政府・日本軍・日本企業によって殺害されたアジア太平洋の民衆ひとりひとりの生涯をたどる意味と方法について、海南島でこれまで知ることができたことにかかわって報告します。

■主題報告 海南島と中国東北部：村落襲撃、万人坑、強制労働

金静美

海南島と中国東北部における日本の侵略犯罪は、軍事的・経済的・社会的につながっていました。その具体的な事実を、村落襲撃、万人坑、強制労働……に焦点を合わせて報告したいと思います。

■主題報告 三竈島と海南島：三竈島の抗日ゲリラ隊と日本軍の住民虐殺

蒲豊彦

三竈島では、抗日武装部隊がくりかえし日本軍に抵抗を試みましたが、日本軍は抗日武装部隊を支援しているとして住民を虐殺しました。当時の香港の新聞記事によりつつ、その詳細を報告します。

■報告 海南島とベトナムで：元舞鶴鎮守府第一特別陸戦隊兵士の証言

斉藤日出治

杉原剛さんから海南島とベトナムでの行動について最近聞いたことを、本人の了解をえて報告します。

■討論 侵略戦争・抗日戦争

日本国家が「戦争法」を制定し侵略戦争体制の再構築を始めた2015年は、アジア太平洋の民衆にとっては抗日戦争勝利70周年の年でした。アジア太平洋での二つの戦争について話し合いたいと思います。

■調査報告 第15回海南島「現地調査」(2015年秋)

金静美

嶺尾村、光村、南北溝村、高石村、英歌村、八所村、新街村、墩頭村、大坡村、老王村、昌美村、土卜嶺村、慶雲村、大水村、龍馬坡、純雅村、三媽溝市村、詩礼村、潭陸村……でのことを報告します。

■2016年3月の海南島近現代史研究会の16回目の海南島「現地調査」について

■南海出版社との共同作業について（「調査」、ドキュメンタリー、写真集……）

海南島近現代史研究会 <http://www.hainanshi.org/>